



# 進路だより

愛知県立豊川特別支援学校本宮校舎

進路指導部 第2号

令和5年12月22日

## 1 働くために必要な力や求める人材について

雇用から3年目までを迎える企業に対して、「勤務状況調査」を依頼しました。36社から回答をいただき、企業が考える働くために必要な力や求める人材について御紹介します。

### 働くために必要な力や求める人材

- ・働く目的と意欲をもっている。
- ・自分のことは自分でしっかりできる。
- ・毎日、休まず出勤できる。
- ・体力があり、規則正しい生活ができる（健康管理）。
- ・明るく元気で思いやりがあり、何事も前向きに取り組める。
- ・コミュニケーションがとれる（話すこと、聞くこと、自分の考えを伝える）
- ・あいさつ、返事、相談がしっかりでき、周りとのコミュニケーションがとれる。
- ・人の話を聞いて、見て、理解していることを態度で示すことができる。
- ・誰からも愛されるような行動や態度、謙虚さがある。
- ・感情をコントロールし、人と上手に付き合える。
- ・向上心をもって、一生懸命仕事に取り組むことができる。
- ・指示されたことが理解でき、落ち着いて作業ができる。
- ・品質や安全など、会社で決められたルールを守ることができる。
- ・分からないことがあったら、質問をしたりメモをしたりすることができる。
- ・家庭が本人と同じ方向を向いて同じ思いで歩むことができる。



## 2 職業準備性ピラミッド

「職業準備性」とは、職種を問わず働く上で必要となる基本的な能力のことです。働くためには、「働くことについての理解」「生活習慣」「作業遂行能力」「対人関係スキル」などを整えていくことが大切です。

ピラミッドの下を支える部分（生活する力）ほど、長く働き続けるために必要な力となります。ピラミッドの上にある仕事をするための能力が身に付いていても、土台となる日常生活管理や健康管理ができないと、たとえ就労ができて長く働き続けることは難しくなります。

職業適性

基本的労働習慣

対人スキル

日常生活管理

健康管理

令和6年1月12日(金)にPTA 学習会を行います。今回は、「卒業後の支援について」をテーマにして行われます。ご都合がつく方は、どうぞ、御参加ください。

## 進路ワード

### ～卒業後に関わること～

#### 【定着支援(アフターフォロー)】

卒業後、3年を目安に職場定着への支援を学校が主体となって行います。適切な時期に、卒業学年の担任や副担任、進路担当が、本人や家庭に電話を入れたり、進路先に訪問して仕事の様子を見学したりします。何か問題があれば、関係機関と連携をし、必要な対応を行います。

#### 【障害者就業・生活支援センター(略称:なかぼつ)】

職業自立に向けて、就職活動の相談から職場に定着できるようになるまでの、幅広い相談に応じてくれます。学校と連携をし、進路先に同行する場合があります。

#### ※豊橋障害者就業・生活支援センター

「担当エリア:豊橋市、豊川市(旧一宮町除く)、蒲郡市、田原市」

#### ※東三河北部障害者就業・生活支援センター「ウィル」

「担当エリア:新城市、設楽町、東栄町、豊根村、豊川市(旧一宮町)」



#### 【相談支援事業所】

本人や家族からの相談に応じて、障害福祉サービスを有効的に利用できるように支援をしたり、情報を提供したりするといったことを行っています。

#### 【障害者職業センター】

就職に向けての相談、職業能力の評価、就職前の支援から就職後の職場適応の援助まで、個々の状況に応じた継続的なサービスの提供を行っています。

※豊橋市には、愛知障害者職業センター豊橋支所があります。

## 愛知県の最低賃金が10月から変わりました

10月1日から最低賃金が改定されました。愛知県では、986円から1,027円に引き上げられました。最低賃金とは、最低賃金法などに基づいて決定される賃金の最低基準額です。雇用者(企業等)が労働者に支払わなければならない最低額の賃金です。